

塾経営者の立石氏が、会いたい先生に会いに行き、率直な言葉を投げかけ対話する「体当たりインタビュー」。今回ご紹介するのは、志願者数の多さで知られる日本大学豊山中学校高等学校の梅田先生です。その人気の要因は何か？施設を巡り梅田先生のお話を伺う中で浮かんだ言葉は、自主性を育む「大らかさ」です。

第二十回

日本大学豊山中学校高等学校教諭

梅田 雄一 先生

梅田 雄一 先生 プロフィール

大学在学時に塾講師のアルバイトを始め、卒業後も勤務を続ける。その後日本大学通信教育部で英語科の教員免許を取得し、母校である日本大学高等学校・中学校で非常勤講師として勤務。2019年より日本大学豊山中学校高等学校に着任。部活動は高校バレーボール部。広報部所属。趣味はサッカー観戦で、休日は国内各地を奔走する。



生徒同士で教え合える。 そんな雰囲気を作ることで 学びの好循環が生まれます。

教科を教えるだけでなく、 クラス運営と生徒指導を行うのが 学校の教師

立石 梅田先生は、学習塾で講師の経験があると伺いました。そのあたりの経緯と教師になるきっかけを教えてください。

梅田 高校生の頃、クラスメイトに対して定期テスト前に数学や理科を教えていたのです。定期テスト後にクラスメイトから感謝されて、教える面白さを実感しました。人に教えるときは、自分自身も理解しないと教えられるので、自分の成績も自然に伸びていきました。大学生になって、塾の講師を始めました。大学卒業後も続けていたのですが、先輩から「長く教えたのであれば、学校の教師がいいよ」とアドバイスをいただき、通信制の大学に入り直して教員免許を取得しました。

立石 塾の講師は、どのくらいの期間続けたのですか。

梅田 大学時代を含めると10年近くです。集団指導と個別指導、どちらも経験しました。

立石 塾の講師と教員には、大きな違いはありますか。

梅田 赴任当初は戸惑いましたね。塾はその教科を教えればよかったのですが、学校の教員は教科を教えることとクラス運営、生徒指導とのバランスが難しかったですね。ただ、クラス運営や生徒指導をしっかりやる事によってクラスの雰囲気が明るくなり、授業に活気が溢れ、生徒の学力が上がるという好循環が生まれます。そこが教員になって面白いところでもあります。

英語の学習意欲を高めるには、 習慣化と自信が大事

立石 生徒のモチベーションは大事ですね。理数系が得意だったとおっしゃっていましたが、どうして英語の教員になられたのですか。

梅田 私は中学校の入学当初、一番不得意だったのが英語でした。小学校時代にローマ字の読み方を覚えた影響で、発音とスペルが滅茶苦茶でした。例えば、「You are」を「ヨウ アレ」と発音していたほどです。そのくらい苦手だったにも関わらず、ある先生との出会いをきっかけに得意科目にすることができたのです。英語で苦しんでいる生徒を1人でも救いたいと思い英語教師を志しました。

立石 それは珍しいケースですね。この対談に出てくださっている先生たちは元から英語が得意であったり、好きだったりする先生が多いです。得意になる極意をぜひ教えてください。

梅田 英語は、リーディング、ライティング、スピーキング、そしてリスニングの4技能がありますが、一気に全てを身に付けることはできません。経験上、男子はコツコツと英語を学ぶのが苦手なので、まずは習慣化させることが大切です。私は、生徒に朝のホームルームや授業中にテスト範囲の単語を音読する習慣を身に付けさせます。そしてテストで1回でもよい点数を取れると自信がつきます。自信がつくと、学習意欲も高くなります。そうなると、通学時間を利用したり、家庭学習でも英語を自然と学習する習慣ができるのです。英語の場合は文法の理解度はクラス全体でもそんなに差はないのですが、単語力で差がつくことが多いので最初に単語力をつけることが大事です。また、褒め方にも気を付けています。いつも同じことで褒めていたらマンネリ化してしまうので、クラス全体に向けて褒めたり、個人に対しても単語の点数だったり、字の丁寧さ等の些細な事でも褒めたりしています。

立石 そうですね、赤ちゃんも言葉から覚えてきて、会話ができるようになりますよね。単語力は重要です。単語が分かれば、リーディングやライティングは理解

しやすくなります。本校に着任されたきっかけを教えてください。

梅田 最初の3年間は母校の日大高校で講師として教えていました。その後、日本大学の付属中高教員採用試験に合格して日大豊山に赴任することになります。教職を志した当初は公立か私立で悩みましたが、自分は母校を訪問しても学生時代に教わった先生方がいて、旧交を温めてきました。異動がなく同じ場所で長く働ける私立の教員に魅力を感じ選択したのです。今も毎日のように、近況報告をしに卒業生が遊びに来てくれますよ。

体育部、学芸部ともに 個性的な部活動がずらり。 学校生活を楽しめる充実した施設

立石 大学の付属で男子校ですが、共学との違いはありますか。

梅田 共学の場合は、いい意味でも悪い意味でもクラスの中で体育部グループや学芸部グループの集団ができる傾向があります。男子校になると在籍している部活は様々ですが、特定の集団というより、漫画やゲームなどの趣味を共有している生徒同士が集まったりしています。

立石 異性の目を気にしないで、趣味に没頭できるのも別学校の良さでもありますよね。御校は部活動も盛んに活動されていますね。

梅田 これも異性の目がない分、打ち込める環境ではあります。水泳部はインターハイ5連覇を達成しました。バスケットボール部も数年前にウィンターカップに出場しました。野球部、サッカー部、卓球部、ア

メリカンフットボール部なども強豪です。珍しい部活だと自転車部やソフトテニス部があります。文化系の部活では鉄道部が活躍しています。主に鉄道の模型を作っていますが、完成された作品を見るとかなり迫力があります。部員数も30名を超えるほどです。

立石 それだけの部活があると活動する敷地の用意が大変ですね。

梅田 野球部やサッカー部は板橋区の中台総合グラウンドで練習をしています。自転車部は普段は校内で練習するのですが、時々、立川競輪場などの外部施設で練習をすることもあるようです。陸上部とアメリカンフットボール部は桜上水にある日本大学のグラウンドでも練習をしています。

立石 これだけ充実した環境だと生徒たちも積極的に参加できますね。大学進学も日本大学に進学する生徒が多いですか。

梅田 生徒の約75%が日本大学に進学しています。一般入試で、明治大学や東京理科大学などに進学する生徒もいます。現役での大学進学率は90%以上です。

立石 内部進学する場合は、「日本大学基礎学力到達度テスト」が基準になると伺いましたが、こういった仕組みでしょうか。

梅田 日本大学付属高校に在籍する生徒が一斉に受験をします。志望学部に対して成績順に推薦資格を取得できます。高校2年生の4月、高校3年生の4月と

9月に実施されます。成績の比率としては、高校2年、3年の4月に実施されるテストが各2割、高校3年生の9月のテストが6割です。その合計点で評価していきます。

「好き」を突き詰められる学習環境。日本大学のキャンパスで講義を受けることも

立石 日本大学は多種多様な学部があるので、将来、目指したい職種や究めたい学びを見つけられたら大きなアドバンテージになりますね。本校の生徒は今後、どのような人間になってほしいですか。

梅田 社会に出ると画一化を求められることもあるかもしれませんが、でもその中で個性を伸ばし、好きなことやこだわっていることを大事にしてほしいですね。

立石 私もそうですが、自分自身の価値観は揺るがない部分は確かにありますね。社会に出るとそれを消さないといけない部分も出てきますが、中々、消えません。先生は将来、どんな学校にしたいですか。

梅田 好きを突き詰めて、それを活用できる学校にしたいです。大学付属校のいいところを活用し、好きなものを見つけたら、そのことについて研究して、教授やエキスパートに意見を聞いたり、自分の考えをぶついたりしてほしいです。大学との連携教育があり、日本大学の講義を受けることもできます。

立石 大学と連携できるのは大きな魅力ですよ。最後の質問ですが、先生自身はどんな先生になりたいですか。

梅田 教師としての役割が今後変化していくと思います。「ティーチング」から「コーチング」に役割を変えていきたいです。教師が話す時間を極力少なくし、生徒たちが活動する機会をどんどん増やしていくことが理想です。冒頭で言ったことと重なるのですが、自分が学生時代にクラスメイトに教えていた時、生徒同士で教え合うメリットを非常に感じました。その経験を実際の授業でも活用していきたいと考えています。

【取材後記】

日本大学豊山中学校高等学校は護国寺駅の出口から1分以内で学校に到着します。校舎内に入るとエスカレーターが備わっていて、充実した施設が素晴らしかったです。大学入試改革によって付属校ブームがあり、その相乗効果で人気急上昇していると思っていたのですが、本日の取材で感じたのは、男子生徒の自主性を育むための、メソッドが確立されていることです。男子生徒の成長をどのように見守り、どのように指導していくのかを社会的背景を考慮しながら、先生方は日々試行錯誤をされているのだと思います。今回の取材記事が、日本大学豊山中学校高等学校の指導と環境の両面のスケールの大きさが伝わるものとなればこれほど嬉しいことはありません。

立石 哲也 プロフィール
 1975年生まれ。市川学園、中央大学卒業。教育関係の会社に就職。2012年、36歳で個太郎塾北赤羽教室を開業。2021年5月より浅草教室の運営も手掛ける。教室経営の傍ら、「子どもたちに幅広い選択肢を！」という想いから、首都圏模試で個別指導EPPリーダーとして活動している。



日本大学豊山中学校高等学校 梅田 雄一 先生 思考コード

	学校の環境 A	梅田先生の取組 B	生徒の未来像 C
3	日本大学と連携してグラウンド等の様々な大学施設が利用できる。	「ティーチング」から「コーチング」へ授業のスタイルを変える。	社会に貢献し続ける姿勢を持ち続ける土台を作る。
2	都内有数の充実した校舎施設	英語が苦手な生徒でも自身の経験を活かして、得意科目にしていく。	大学教授やその分野の専門家と一緒に好き、得意な分野を突き詰めていく。
1	有楽町線「護国寺駅」から徒歩1分以内のアクセスの良さ	生徒一人ひとりを認めてあげて自己肯定感を育てる。	大学付属という利点を活かし、志望する多様なキャリアの選択肢に触れる。